

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 22 年 1 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況（図 1、図 2）

2010 年 1 月 28 日に気象庁長崎海洋気象台が実施した海上からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口および中央部に位置するグスク火山火口から、従来より認められている噴気が確認されました。硫黄岳火口では、前回の観測時（2009 年 9 月 28 日）と比べて、噴気量はやや多い状況でした。

その他の状況に特段の変化は認められませんでした。

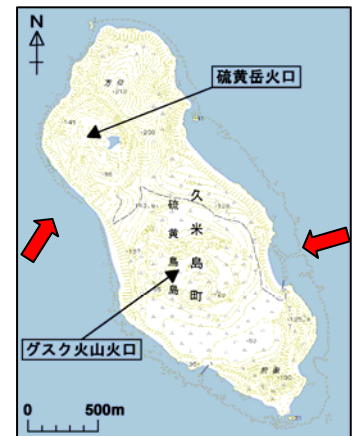


図 1 硫黄鳥島 火口位置図

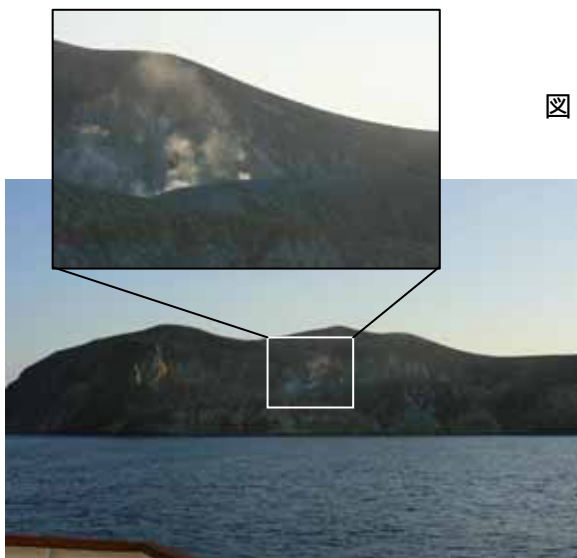


図 2 硫黄鳥島 硫黄岳火口(左:2010年1月18日 右:2009年9月28日 南西側(図1)より撮影)



図 3 硫黄鳥島 グスク火口(左:2010年1月18日 右:2009年9月28日 東側(図1)より撮影)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000分の1地形図』を複製したものです（承認番号：平 20 総複、第 647 号）